

平成28年度 京都市予算案 事業概要

消 防 局

事務事業名	室町消防出張所整備		
予 算 額	54, 000千円	新規・継続の別	継続
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担 当 課	総務部 庶務課(212－6635)		
[事業実施に至る経過・背景など] 室町消防出張所は、昭和45年に竣工し、狭あい老朽化が著しいため、建替えを行う。			
[事業概要] <u>平成28年度は、新庁舎の実施設計に基づき、整備工事に着手する。</u>			
《旧庁舎》 場 所：北区小山南上総町1－1 建 築 年：昭和45年 建築構造：鉄骨鉄筋コンクリート造平屋建て（延べ169㎡） ※旧庁舎の解体は完了している。			
《新庁舎》 場 所：旧庁舎と同じ。 建築構造：鉄骨鉄筋コンクリート造2階建て 延べ約350㎡			
《年次計画》 平成28年度 庁舎建設 平成29年度 庁舎建設、竣工			
[参 考（他都市の状況・事業効果など）]			

平成28年度 京都市予算案 事業概要

消 防 局

事務事業名	救急需要対策の推進(梅津救急隊増隊)																				
予 算 額	48,000千円	新規・継続の別	新規																		
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠																		
担 当 課	総務部 庶務課(212－6635)																				
[事業実施に至る経過・背景など] 平成27年の救急出動件数は、前年に比べて1,593件増加(+2%)し、過去最高の救急出動件数となった。 これまでから、救急車や救急医療は限りある資源であるため、市民に適切な利用を案内してきたほか、救急隊の増隊(※)などにより、救急出動件数が増加の一途をたどっているなか、平均6分台の現場到着時間を維持してきた。 また、より迅速な病院選定が可能となるタブレット端末を救急隊に導入し、救急活動の効率化を図るなど、救急需要の増加に対応してきた。 しかしながら、高齢化の一層の進展などにより救急需要はさらに増加すると予想される。 ※ 救急隊を26隊(平成17年4月時点)から4隊増やし、現在、30隊を配置 《救急出動件数、救急現場到着時間の推移(京都市)》 <table><tr><td></td><td>平成17年</td><td>平成26年</td><td>増 減</td></tr><tr><td rowspan="2">出動件数</td><td>72,082 件</td><td>81,743 件</td><td>+9,661 件(+13%)</td></tr><tr><td>(5,280,428 件)</td><td>(5,988,377 件)</td><td>(+707,949 件(+13%))</td></tr><tr><td rowspan="2">現場到着時間(平均)</td><td>6分38秒</td><td>6分35秒</td><td>△3秒(△1%)</td></tr><tr><td>(6分30秒)</td><td>(8分36秒)</td><td>(+2分6秒(+32%))</td></tr></table> ※ ()内は、全国の数値 全国の現場到着時間(平均)は、分単位の統計を秒単位に換算して表示 [事業概要] 救急需要の増加に的確に対応するため、右京消防署梅津消防出張所に、市内31隊目となる救急隊を新設する。					平成17年	平成26年	増 減	出動件数	72,082 件	81,743 件	+9,661 件(+13%)	(5,280,428 件)	(5,988,377 件)	(+707,949 件(+13%))	現場到着時間(平均)	6分38秒	6分35秒	△3秒(△1%)	(6分30秒)	(8分36秒)	(+2分6秒(+32%))
	平成17年	平成26年	増 減																		
出動件数	72,082 件	81,743 件	+9,661 件(+13%)																		
	(5,280,428 件)	(5,988,377 件)	(+707,949 件(+13%))																		
現場到着時間(平均)	6分38秒	6分35秒	△3秒(△1%)																		
	(6分30秒)	(8分36秒)	(+2分6秒(+32%))																		
[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]																					

平成28年度 京都市予算案 事業概要

消 防 局

事務事業名	勸修寺消防出張所移転整備								
予 算 額	27, 000千円	新規・継続の別	新規						
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠						
担 当 課	総務部 庶務課(212－6635)								
[事業実施に至る経過・背景など] 現庁舎は、昭和5 1年の竣工から3 9年が経過し、狭あい老朽化が著しいため、山科消防署勸修寺消防出張所を移転整備する。 [事業概要] 平成2 8年度は、整備に先立ち、実施設計を行う。 《現庁舎》 場 所：山科区勸修寺仁王堂町2 7－6 建 築 年：昭和5 1年 建築構造：鉄骨鉄筋コンクリート造2階建て （延べ2 9 1㎡） 《移転先》 場 所：伏見区深草神明町講谷町2－1 大岩街道周辺環境対策事業用地（旧エコクリーン焼却炉跡地） ※山科区から伏見区へ移転するが、引き続き、山科区を管轄区域とする。 《年次計画》 <table><tr><td>平成2 8年度</td><td>実施設計</td></tr><tr><td>平成2 9年度</td><td>庁舎建設</td></tr><tr><td>平成3 0年度</td><td>庁舎建設、竣工</td></tr></table> [参 考（他都市の状況・事業効果など）]				平成2 8年度	実施設計	平成2 9年度	庁舎建設	平成3 0年度	庁舎建設、竣工
平成2 8年度	実施設計								
平成2 9年度	庁舎建設								
平成3 0年度	庁舎建設、竣工								

平成28年度 京都市予算案 事業概要

消 防 局

事務事業名	京北地域の災害対応拠点整備		
予 算 額	40,000千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担 当 課	総務部 庶務課(212－6635)		
〔事業実施に至る経過・背景など〕 京北地域は、広大な面積を有しているうえ、集落も広範囲に散在し、市街地からの消防隊等の到着に時間を要する地域である。 平成25年の台風18号及び平成26年8月の豪雨災害では、京北地域内の複数箇所ですべて同時に水災害が発生したことから、右京区役所京北出張所を京北地域の災害対応拠点として、消防機関と関係行政機関が連携し、災害対応を行った。しかし、同拠点には、消防機関が情報収集・伝達等を行うための通信施設が設置されていないため、災害現場の消防隊等からの情報を効率よく収集・伝達することが困難であった。 〔事業概要〕 大規模災害への対応力の強化を図るため、消防機関と関係行政機関の一体的な災害対応が可能となる拠点の整備を行う。 《整備概要》 整備場所：右京区役所京北出張所内 整備内容：消防機関が迅速・確実に災害対応を行うための通信施設(※)を設置 ※消防活動の情報収集・伝達、指揮、連絡、出動指令等の指令管制を行うための、消防無線や指令システム機器等			
〔参 考（他都市の状況・事業効果など）〕			

平成28年度 京都市予算案 事業概要

消 防 局

事務事業名	年代に応じた防災カリキュラムによる，幼少年期からの防災教育の充実		
予 算 額	2,000千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担 当 課	総務部 庶務課(212－6635)		
〔事業実施に至る経過・背景など〕 東日本大震災をはじめとする災害が各地で頻発し，住民の生命，身体及び財産を災害から守るための地域防災力の重要性が増えている一方で，少子高齢化の進展などの社会情勢の変化により，今後の地域の防災活動の担い手を十分に確保することが困難となっている。 〔事業概要〕 地域の防災活動の担い手となる幼少年の防災教育を充実させるため，年代に応じた防災カリキュラムを作成し，系統立てた長期的な防災指導を実施することにより，いざというときに自ら考え命を守る行動をとることができるとともに，周りの人を助けることができる人づくりを推進し，災害対応力を向上させる。 平成28年度は，防災カリキュラムの策定に向けた検討会を開催する。 《年次計画》 平成28年度 防災カリキュラム策定に向けた検討会の開催 平成29年度 検討結果を基に，モデル校で試行運用・検証 検証結果を基に，防災カリキュラムを策定 平成30年度 全市で運用開始			
〔参 考（他都市の状況・事業効果など）〕			